

国際協力事業団

フィリピン共和国  
公共事業・道路省

フィリピン国  
マヨン火山地域総合防災計画調査

最終報告書  
和 文 要 約

平成 12 年 10 月

日本工営株式会社

株式会社コーエイ総合研究所

国際協力事業団

フィリピン共和国  
公共事業・道路省

フィリピン国  
マヨン火山地域総合防災計画調査

最終報告書  
和 文 要 約

平成 12 年 10 月

日本工営株式会社  
株式会社コーエイ総合研究所

## 報告書の構成

和文報告書
-------

**Volume I EXECUTIVE SUMMARY**

**Volume II MAIN REPORT**

- Part I : Master Plan
- Part II : Feasibility Study

**Volume III SUPPORTING REPORT (1): Master Plan**

Chapter

- I : Hydrology, Hydraulics/ River Planning
- II : Sabo Planning
- III : Facility Design
- IV : Land Use Planning
- V : Surveying/ Aerial Photo/ Topographic Mapping and  
Satellite Image Analysis
- VI : Disaster Mapping/ Hazard Mapping
- VII : Forecasting & Warning System
- VIII : Evacuation
- IX : Institutions
- X : Relocation and Resettlement
- XI : Cost Estimate
- XII : Socio-economy
- XIII : Environmental Assessment

**Volume IV SUPPORTING REPORT (2): Feasibility Study**

Chapter

- XIV : Hydrology, Hydraulics/ River Planning
- XV : Sabo Planning
- XVI : Facility Design
- XVII : Land Use Planning
- XVIII : Forecasting & Warning System
- XIX : Evacuation
- XX : Implementation Plan
- XXI : O&M Planning
- XXII : Resettlement Site Development
- XXIII : Supporting Projects and Programs
- XXIV : Cost Estimate
- XXV : Socio-economy
- XXVI : Environmental Assessment
- XXVII : Pilot Project

**Volume V DATA BOOK**

## 序文

日本国政府は、フィリピン共和国政府の要請に基づき、同国のマヨン火山地域総合防災計画にかかる開発調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施いたしました。

当事業団は、平成10年9月から平成12年10月までの間、4回にわたり日本工営株式会社の佐藤秀樹氏を団長とし、同社及び株式会社コーエイ総合研究所から構成される調査団を現地に派遣しました。

また、平成10年9月から平成12年10月までの間、国際協力事業団の渡辺正幸国際協力専門員を委員長とする作業監理委員会を設置し、本件調査に関し、専門的かつ技術的な見地から検討・審議が行われました。

調査団は、フィリピン共和国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成12年10月

国際協力事業団  
総裁 斉藤邦彦

斉藤 邦彦

---

平成12年10月

国際協力事業団  
総裁 斉藤 邦彦 殿

## 伝 達 状

今般、フィリピン国マヨン火山地域総合防災計画調査を終了致しましたので、ここに最終報告書を提出し、御報告申し上げます。

本報告書は、フィリピン国ルソン島東端域のアルバイ州東側に位置する活火山であるマヨン山周辺地域における総合防災計画調査(マスタープラン及びフィージビリティ調査)にかかる調査結果を記述しております。

本調査は、6～10年の間隔で噴火活動を繰り返しているマヨン火山の周辺地域の住民とその資産を守る為、ハード対策に加え、ソフト対策を含めた総合的な防災計画マスタープランを策定し、さらにそこで選定された優先プロジェクトにかかるフィージビリティ調査(F/S)を実施したものであります。

本報告書を提出するにあたり、全調査期間にわたり、多大なご支援と御助言を賜った貴事業団、貴事業団フィリピン事務所、在フィリピン日本大使館、ならびにフィリピン政府諸機関の関係者各位に対し、心から感謝の意を表すものであります。本調査の結果がフィリピン国の今後の発展にいささかでも貢献できることを切に願う次第であります。

佐藤 秀樹

佐藤 秀樹

フィリピン国マヨン火山地域総合防災計画調査団長